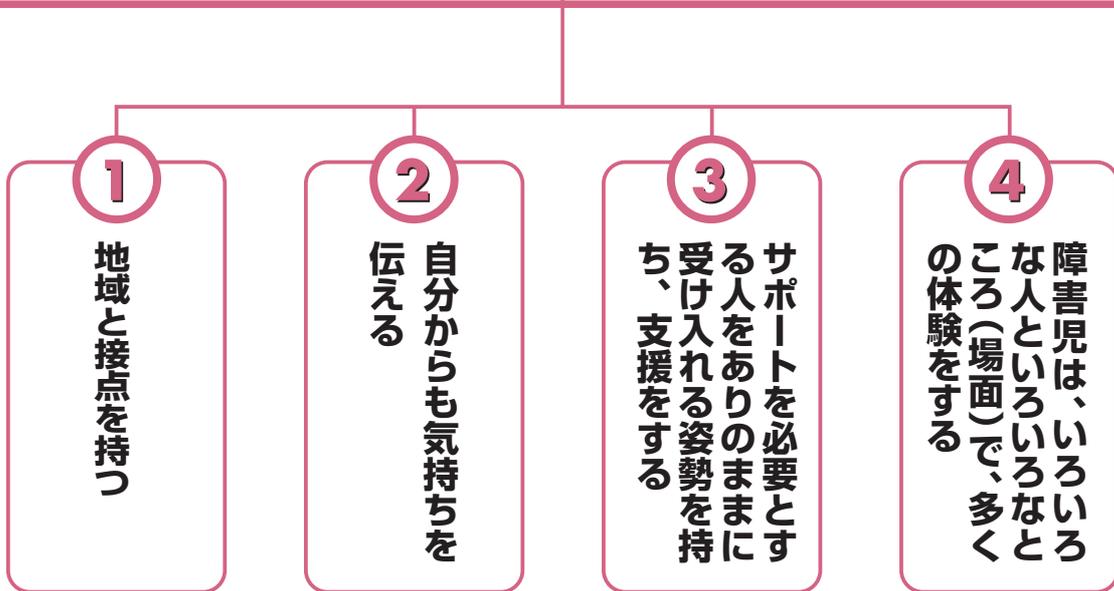




3 一人ひとりの個性を認め合い、みんなが共存するまち



■福祉保健推進の目標値

項目	現在	5年後
障害者(児)と共に活動を行う機会があった	17.1%	→ <u>30%</u>
障害者(児)と共に活動する機会があれば参加したい	30.3%	→ <u>50%</u>
ちょっと困ったことがあった場合に助けてくれる近隣の人や近くの友人がいる	53.9%	→ <u>80%</u>



3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち

1 地域と接点を持つ

地域には、高齢者や障害者など、様々なサポートを必要とする人が生活をしています。みんなが個性を認めあう中で、地域の活動に参加して、地域とのつながりをつくるのが、いつでも協力しあい、助けあう関係につながります。

現状と課題

- 1 高齢者や障害者など、サポートを必要とする人は「地域の人に知られたくない」と思う一方、「地域に出て、一緒に活動したい」と思う気持ちもあります。
- 2 地域活動などに積極的に参加することができる地域づくりが重要です。
- 3 区民からは、

- 高齢者は、福祉サービスを利用するだけでなく、地域の中で活動したい
- サポートがないと外出できないので、地域の活動に参加できない
- 障害児は地域と接点を持ってないまま成長する
- 障害者は地域の中で孤立している
- 障害者は地域の情報を知らない
- 障害者は、地域で自主活動をしたり、余暇活動にも参加したい

などという声が寄せられています。

課題解決に向けた取組み

個人は、サポートを必要とする人に対して地域の活動を伝えて、一緒に参加します。団体は、サポートを必要とする人が地域で活動、交流する場をつくります。行政は、個人や団体の活動を支援します。

個人の取組み

🍎 地域の活動を伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

- 近隣の方は、普段から声をかけ、信頼関係をつくります
- 安心して参加できる活動を探して紹介します

👉 活動の楽しさを伝え、一緒に参加するよう手助けします

- 近隣の方が、自分から声をかけ、外出に誘います
- 近隣の方が、話しかけて、おしゃべりをします
- 自らが参加して、体験や楽しさを伝えます
- さわやかスポーツや地域ケアプラザの行事を勧めます
- みんなが集まって参加できる場を紹介します
- 外出の時は付きそいをします

🍎 地域に参加・交流する場があります

- 近隣の方が、話し相手になりストレスを減らします
- さわやかスポーツや地域ケアプラザの行事があります



- いろいろな世代の人との交流の機会をつくります
- みんなが集えるような「たまり場」をつくろうと提案します

団体の取組み

すでに取り組んでいること

●地域の活動を伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

- 商店街に立地しているみらい工房西（中途障害者地域活動センター）は、地域の人に活動内容を伝えます
- 心身障害者（児）団体連絡会は、啓発のためのちらしを作り、本人と家族がいろいろな場所で配布します
- 聴覚障害者協会は、区民まつりなどの場で、生活上の課題やコミュニケーション手段について、啓発活動を行います
- 生活支援ネットワークは、会員や地域の人に向けた研修会を行います
- は一とメンバーズ自治会（障害当事者の自主グループ）は、障害者も勉強して、支援されるだけでなく自ら活動に参加する気持ちを持つような働きかけをします

🍷活動の楽しさを伝え、一緒に参加するよう手助けします

🍷地域に参加、交流する場があります

- 民生委員児童委員は、障害者との交流懇談会で意見を聞き、情報交換をします
- 障害者団体は、青少年センターやボランティア協会に働きかけ、一緒に活動する仲間を探します
- 藤棚一番街協同組合は、子どもや高齢者、障害者などと一緒に、商店街のふれあい花壇を作ります
- 老人クラブ連合会は、虚弱な高齢者に対して、参加しやすいよう身近な場所で健康づくり活動を行います
- 老人クラブ連合会は、引きこもり予防のため、高齢者に体操教室を行います
- 自治会町内会は、高齢者施設と一緒に防災訓練を行います
- 自治会町内会は、高齢者中心のイベントを企画します
- エプロンよこはま（障害者地域作業所）は、清掃活動や弁当の配達を通じて日常的に地域と交流します
- 無限夢工房（障害者地域作業所）は、地域に向けてピアノ教室やパソコン教室を開催します
- パソコン工房DELTA（障害者地域作業所）は、自らが講師となり、地域の人を対象としたパソコン教室を充実させ、日常的な交流を図ります

新たな取組み

●地域の活動を伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

- 生活支援ネットワークは、解決できない問題については、あきらめずに地域に向けて発信します
- 視覚障害者福祉協会は、警察、消防などの行政や区民に対して、建物や道路などのバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーをめざして、障害を理解するためのワークショップを行います
- 障害者団体は、地域で行われている講座に参加し、当事者の気持ちを伝えます



- 障害者施設は、地域の清掃活動を行います
- 障害者施設は、PTAと協力して、小学生との交流会やイベントを行います
- 自治会町内会は、障害者が地域行事に参加できるよう声をかけます

活動の楽しさを伝え、一緒に参加するよう手助けします

地域に参加、交流する場があります

- ひまわりは、活動回数や内容を広げ、他の団体とも交流します
- ひまわりは、障害児の親と地域の人との交流の場をつくり、親どうしの交流を図ります
- 生活支援ネットワークは、音楽会などを開き、地域の人との出会いの場をつくれます
- 障害者地域作業所は、一芸に秀でた地域の人を講師として、利用者とは交流をします
- 民生委員児童委員は、障害児者レクリエーションを実施します
- みらい工房西は、身近な商店街と一緒に活動します



行政の取組み

すでに取り組んでいること

地域の活動を伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

サポートが必要な人に関する意識啓発を行います

- 区役所全体が、障害特性を理解し、意識を変えていくような啓発研修を行います（総務課、福祉保健課、サービス課）【リーディング事業】
- 障害者団体と協働で、区民向けの障害の理解に関する啓発講座を行います（サービス課）【リーディング事業】
- 障害者団体、障害者地域作業所などの関係機関のネットワークをつくれます（サービス課）

地域に参加、交流する場があります

- 子育てグループへの支援を行っています（サービス課、地域振興課）

新たな取組み

地域の活動を伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

サポートが必要な人に関する意識啓発を行います

- 高齢者、障害者、保育を必要とする人、外国人などが来場しやすいイベントの開催や、窓口対応を行います（全課）【リーディング事業】

地域に参加、交流する場があります



2 自分からも気持ちを伝える

「困っているときに手伝ってほしい」「何か手助けしたい」そう思う気持ちがあっても、お互いがどのような状態で、どのような支援が必要なのかを理解しなくては、気持ちがすれ違ってしまいます。自分の気持ちや状況を伝えることが、個性を認めあうことにつながります。

現状と課題

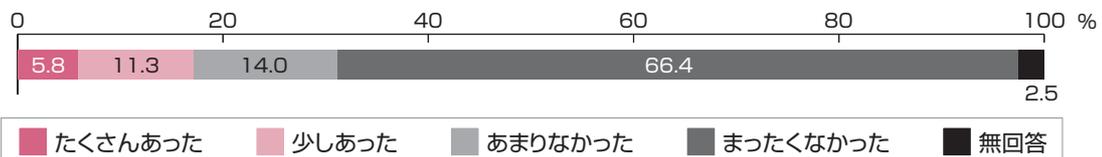
- 1 区民は、障害などの特性や手伝ってほしいこと、困っていることについて、知る機会が少ないという状況があります。
- 2 区民アンケートでも、ここ2～3年の間で障害児者とともに活動する機会が、「あった」と回答している人は17%でした。
- 3 区民からは、

- 障害児は、親が病気の際は通学、通所できない
- 困っているときに相談する人が身近にいない
- 安心して子どもを預けることができる人や場所がない
- 障害者どうしが、相談したり助けあったりする関係を持ちたい

などという声が寄せられています。

区民アンケート調査結果

Q ここ2～3年の間で、障害者（児）の方と共に活動を行う機会がありましたか



課題解決に向けた取組み

個人は、サポートを必要とする人やその家族の話を聞き、相談にのります。団体は、サポートを必要とする人からの発信を進めるとともに、相談や支援を行います。行政は、相談・制度利用を進め、団体の活動を支援します。

個人の取組み

● 家族で抱え込まないで相談しようと思えるよう働きかけます

- 近隣の人が相談できる場所や、ガイドヘルパーなどの制度を伝えます
- 同じ悩みを持つ人を紹介します
- 「何か困っていることはないですか」などと声をかけ、気軽に何でも相談できる雰囲気をつくらせます
- 相談事などの情報交換をします



👂 悩み事を一緒に考え、支援します

- 近隣の人が声をかけ、苦労話を聞きます
- ワークショップなど地域の集まりに参加します
- 相手の話を聞き、悩み事を一緒に考えます
- 手助けしてくれる人を捜します

👂 相談や支援の場、自らが発信する場が地域にあります

- 民生委員児童委員や行政など、いろいろな相談先があることを教えます
- 近隣の人が相談にのります
- 商店や公衆浴場など人が集まるところに、情報交換のための掲示板をつくります
- 障害児者の送迎や預かりなどを行います

👨👩👧👦 団体の取組み

👉 すでに取り組んでいること

🍎 相談しようと思えるよう働きかけます

- 地域精神保健家族会は、月例会を開き、悩みを話し合い、情報交換します
- NPO法人 レスパイト・ケアサービス萌（障害児者とその家族にサービスを提供する事業者）は、電話、来所、インターネットなどによる相談を受けます
- 障害者団体は、啓発のためのちらしを配ります

👂 悩み事を一緒に考え、支援します

- NPO法人 レスパイト・ケアサービス萌は、障害児などを対象に、看護師やホームヘルパーのボランティア派遣を行います
- NPO法人 ワーカーズ・コレクティブたすけあいぐっぴいは、障害児の通学の送迎や見守りを行います

👂 相談や支援の場、自らが発信する場が地域にあります

- 生活支援ネットワークは、地域の人に障害者の暮らしを伝えます
- はーとメンバーズ自治会は、区民向けのボランティア講座などで、自らが体験発表を行います
- はーとメンバーズ自治会は、精神障害者への理解をすすめるチャリティーコンサートを行います

👉 新たな取組み

🍎 相談しようと思えるよう働きかけます

👂 悩み事を一緒に考え、支援します

- はーとメンバーズ自治会は、障害者地域作業所などに通所していない精神障害者を対象に、気軽に参加できるピアカウンセリング（同じ経験をした人が、経験を生かして相談にのること）を行います

👂 相談や支援の場、自らが発信する場が地域にあります

- ひまわりは、イベント後に交流会を開き、保護者から話を聞きます



行政の取組み

すでに取り組んでいること

🍎 相談しようと思えるよう働きかけます

👉 悩み事を一緒に考え、支援します

🍎 相談や支援の場、自らが発信する場が地域にあります

- 障害者週間キャンペーンや区民向けの講習会で、当事者の啓発活動を支援します（サービス課）
- 障害児者支援費制度の一時入所や、地域活動ホームなどでのレスパイトケアがあり、必要とする人に紹介します（サービス課）

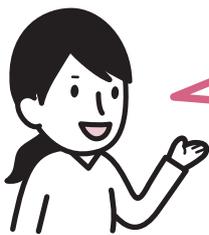
新たな取組み

🍎 相談しようと思えるよう働きかけます

👉 悩み事を一緒に考え、支援します

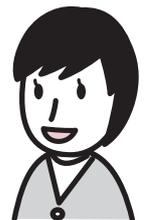
🍎 相談や支援の場、自らが発信する場が地域にあります

- 当事者からの発信（講演会、ワークショップ、趣味教室など）活動への支援を行います（サービス課）
- 職員や区民などが障害の特性を理解し、意識を変えていくように、当事者とともに啓発研修や講座を行います（総務課、福祉保健課、サービス課）【リーディング事業】



「まだ、障害者に対する地域の偏見は強く、これからも地域ケアプラザの講座などを通して啓発活動を続けていきたいと思っています。」

「地域の行事などに参加して、お互いに知りあうことから始めます。」





③ サポートを必要とする人をありのままに受け入れる姿勢を持ち、支援をする

サポートを必要とする人たちが、自らが選んだ暮らしを実現するには、社会の中にありのままに受け入れる意識を持ち、理解し、自然に声をかけ支援することが重要です。

現状と課題

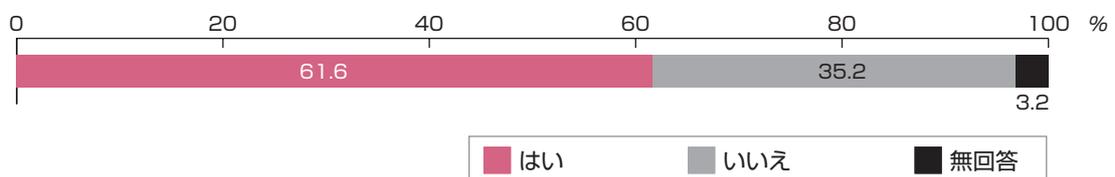
- 1 年をとってもサポートが必要になっても、地域の中で生活したい、それは誰もが願う気持ちです。
- 2 しかし、実際は今までと同じような生活をするのは難しくなります。
- 3 区民アンケートでは、「ちょっと困ったことがあったときに、近隣の人に助けてもらいたいですか」という間に、62%の人が「はい」と答えています。
- 4 区民からは、

- 高齢者は、少し歩くのにも何回も休まなければならない、安心して外出しにくい
- ごみ出しができない高齢者がいる
- サポートが必要になったときに、自分の希望にあった質の高いサービスを利用したい
- 障害者は、車いすで外出したいと思っている

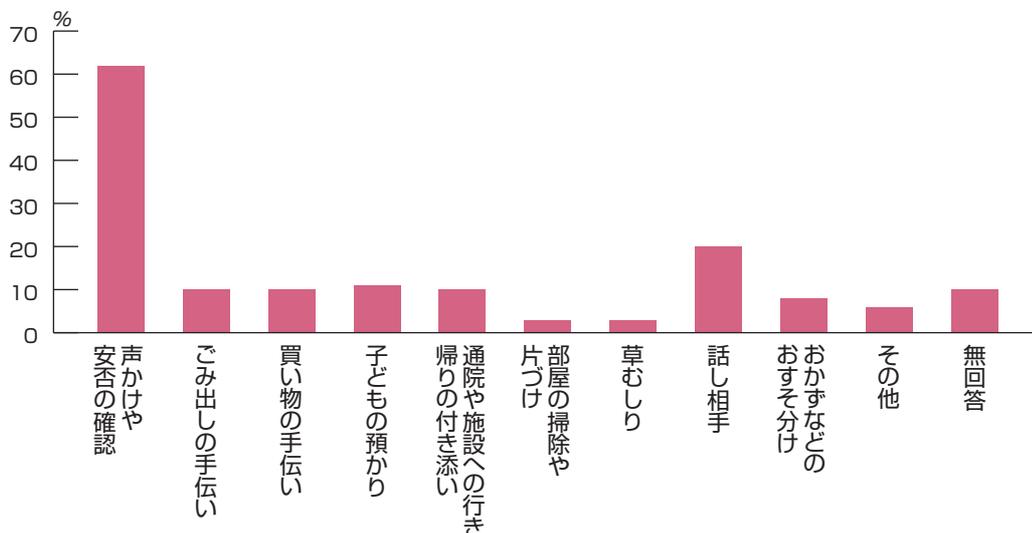
という声が寄せられています。

区民アンケート調査結果

Q ちょっと困ったことがあったときに、近隣の人に助けてもらいたいですか



Q 近隣の人に助けてもらいたいことは何ですか（複数回答）





課題解決に向けた取組み

個人は、サポートを必要とする人の気持ちを知り、外出やごみ出しなどを支援します。団体は、福祉体験などの啓発活動や施設などのバリアフリーを進めます。行政は、個人や団体の活動を支援します。



個人の取組み

- **困ったときに手伝ってほしいと思えるよう働きかけます**
 - 実際に車いすで外出している人が、自分の体験を話します
- ☞ **困っている人を手伝ったり、周囲にも協力を求めます**
 - 地域の人が車いすの体験をして、当事者の気持ちを理解します
 - まちで出会った人が、危なくないように一緒に歩きます
 - 近隣の人が、ごみ出しやごみの分別を手伝います
 - 地域で困っている人がどこにいるか、何を手伝ってほしいかということを知ります
- ☞ **困っている人を支援する方法や仕組みがあります**
 - 困っている人を見かけたら、手伝います

団体の取組み

すでに取り組んでいること

- **困ったときに手伝ってほしいと思えるよう働きかけます**
 - 藤棚一番街協同組合は、高齢者が安心して買い物できるよう、道路を整備したり、ちらしの字を工夫します
 - 薬剤師会は、サポートが必要な人に対してわかりやすい対応をします
- ☞ **困っている人を手伝ったり、周囲にも協力を求めます**
 - 視覚障害者福祉協会は、小中学校や企業に対して福祉体験などの啓発活動を行います
 - デイサービス事業者は、アンケートを行い利用者の声を取り入れます
 - ⁹⁸「愛」ネットワークは、精神保健ボランティア活動をします
 - 生活支援ネットワークは、小学生とその保護者に対し「障害があっても皆同じ」という趣旨のワークショップを行います
 - 友愛活動推進員は、訪問の中で、話し相手やちょっとした支援（落ち葉の掃除など）を行います
 - 食生活等改善推進員は、一皿運動（おかずのお裾分け）やごみ出しの手伝いなど、日々の活動の中でできることに取り組みます
 - 横浜駅西口の店舗では、障害者団体からの要請で、エレベータ内の鏡や、トイレに温水洗浄便座を設置します
- ☞ **困っている人を支援する方法や仕組みがあります**
 - ⁹⁸「愛」ネットワークは、バザーの手伝いやサロン、障害児の送迎支援などを行います
 - サポート西は、自分の特技を生かして、地域の高齢者世帯の小修繕などを行います



新たな取組み

🍎 困ったときに手伝ってほしいと思えるよう働きかけます

👉 困っている人を手伝ったり、周囲にも協力を求めます

🍎 困っている人を支援する方法や仕組みがあります

- 薬剤師会は、店のバリアフリー化をすすめるとともに、サポートが必要な人にも使いやすい商品情報を提供します
- 老人クラブ連合会は、ひとり暮らし高齢者の自宅前など、地域の掃除を計画します
- あげぼの会は、介護者に積極的に情報提供します
- デイサービス事業者は、利用者のニーズに合わせたプログラムをつくります
- ひまわりは、利用者の障害、年齢、活動内容を拡大します
- はーとメンバーズ自治会は、ピアカウンセリングの場をつくります
- 生活支援ネットワークは、地域に向けて発信を行い、障害児者の困っていることを伝えることにより、対等な関係を築きます
- シルバー体操指導員は、外出が大変な人に対して、出前教室を考えます



行政の取組み

すでに取り組んでいること

🍎 困ったときに手伝ってほしいと思えるよう働きかけます

👉 困っている人を手伝ったり、周囲にも協力を求めます

- まち歩き点検活動を支援します（福祉保健課、サービス課）

🍎 困っている人を支援する方法や仕組みがあります

- 障害や難病の当事者の会や家族会を紹介します（サービス課）
- 区役所庁舎や区民利用施設のバリアフリー化をすすめます（総務課ほか）
- 希望者に合わせたごみの分別の説明会やちらし作成を行います（ごみゼロ推進担当）

新たな取組み

🍎 困ったときに手伝ってほしいと思えるよう働きかけます

👉 困っている人を手伝ったり、周囲にも協力を求めます

- 障害者団体などの情報交換の場や仕組みとなる活動拠点づくりを行います（福祉保健課）

🍎 困っている人を支援する方法や仕組みがあります

- 催事等における手話通訳の確保や点字版の作成など、障害者に情報が的確に届くよう、行政の指針を作成します（サービス課、福祉保健課）【リーディング事業】
- 窓口や催事において、指針に応じた手話通訳や一時保育を確保するとともに、相手の立場に立った対応を行います（全課）【リーディング事業】
- 区民に対し、ホームレスに関する人権啓発を行います（サービス課）【リーディング事業】
- 連携を密にするため、ホームレス関係機関の連絡会を行います（サービス課）



4 障害児は、いろいろな人といろいろなところ(場面)で、多くの体験をする

障害のある子どもが自立したいと思ったときに受け入れられる地域をつくるためにも、障害にかかわらず、地域の中で友だちと一緒に多くの体験ができるまちをつくっていきます。

現状と課題

- 1 地域の保育園や幼稚園、小中学校へ通うことがないと、親子とも地域で遊ぶことや地域の友だちがで
きにくく、お互いに知り合う機会がありません。
- 2 学校だけでなく、サークル、地域活動についても同様のことが言えます。
- 3 区民からは、

- 障害があると、地域の子ども会や子育てグループに参加しづらい
- 障害児は、親の付きそいがないと外出できない
- 障害児は、地域の中に友だちがいない

などという声が寄せられています。

課題解決に向けた取組み

個人は、障害について理解し、一緒に活動できるよう働きかけます。団体は、当事者からの発信を受け、参加できるような活動を行います。行政は、障害を理解するための啓発を行い、個人や団体の活動を支援します。

個人の取組み

参加できる活動があることを伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

- 乳幼児のころから地域に参加できる場（親子ふれあい会など）があることを教えます
- 事前に何がしたいか聞き、活動内容を説明します
- 障害のある子もない子と一緒に参加できる活動を考えます
- 親どうしが仲良くなり、自治会町内会の行事に誘います
- 周りの人が、障害の特性を理解します

障害があっても参加できるよう働きかけます

- 近隣の人は、子ども会に参加できるように橋渡しをします
- 障害理解のための研修やワークショップを開きます

参加できる方法や場があります

- 必要に応じて送迎をします
- いろいろな行事に障害者が安心して参加できる体制をつくりましょうと主催者側が積極的に声かけします
- 障害児者や高齢者など誰でも集まれる場を身近につくります



団体の取組み

すでに取り組んでいること

● 参加できる活動があることを伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

☞ 障害があっても参加できるよう働きかけます

- 障害者グループホーム・障害者地域作業所は、できるだけ当事者の意見を取り入れたレクリエーションを行います
- ひまわりは、アンケートでニーズを確認し、企画します

🍄 参加できる方法や場があります

- ひまわりは、春・夏・冬休みに企画を立て、障害児と一緒に遊んでいます
- 障害者グループホームは、利用者全員が参加できるような行事やレクリエーションを行います
- 民生委員児童委員などは、障害者とのふれあい交流バス旅行会を実施します
- まつぼっくり会学校部は、学齢障害児の訓練をします

新たな取組み

● 参加できる活動があることを伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

☞ 障害があっても参加できるよう働きかけます

🍄 参加できる方法や場があります

- 生活支援ネットワークは、地域交流の音楽会などを企画します
- ひまわりは、利用者の障害、年齢、活動内容を拡大します



行政の取組み

すでに取り組んでいること

● 参加できる活動があることを伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

- 障害者団体・障害者地域作業所などと協働して、障害に対する啓発講座を行います(サービス課)

☞ 障害があっても参加できるよう支援します

- 幼稚園や保育園からの、障害児に関する相談に応じます(サービス課)
- 子育てグループや子ども会などの活動に、誰でも参加できるよう支援します(地域振興課、サービス課)

🍄 参加できる方法や場があります

新たな取組み

● 参加できる活動があることを伝え、参加しようと思えるよう働きかけます

☞ 障害があっても参加できるよう支援します

🍄 参加できる方法や場があります